

平成27年度 重点目標の成果と課題（1）

1 「ものごとをよく考える児童の育成～読むことを通して～」		
集計日12月12日 回収人数 23名	A とても思う	1
	B 思う	18
	C あまり思わない	4
	D 思わない	
	E 分からない	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 読書によく取り組む子が多い。おすすめ百選や読み聞かせで聞いた本から借りて本を読むことが好きな子が多い。(6) ✧ 保護者や図書委員の読み聞かせ、桜丘図書館のお話会など様々な本との出会いの機会があった。聞く態度は身に付いてきている。(8) ✧ 図書室における読書環境が整っている。 ✧ 「先生おすすめの本」の紹介を本の帯の形に変えたことにより、推薦図書を増やし、手に取りやすくすることができた。 ✧ 前年度までの国語の研究成果・蓄積があり、特にワークシートが普段の授業に生かしやすく、結果考えさせる授業ができている。 ✧ 言語活動を授業に取り入れて、よく考える児童の育成をめざした。考える時間の確保、自分の言葉でまとめる活動を重視した結果、書いたり話したりして自分の思いを豊かに表現できる児童が増えた。(2) ✧ 授業において、個→全体→個というサイクルが定着し始め、自分の考えをもって授業に臨む児童が増えてきた。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ①筋道を立てて、自分の言葉でまとめ、考えられるよう日々の積み重ねに不足している。ものごとを考える力にまではつながっていない。教え込むが多かったので気をつける。(4) ②一部の児童は読書に苦手意識をもっているようである。国語の学習を通して、読書に親しむ態度を養う。物語文の授業研究を強化する。(2) ③児童が互いにお気に入りの図書を紹介しあうなど、読書活動に主体的に取り組むことを促す機会が少なかった。 ④花の子おすすめ百選をより推進し、幅広いジャンルの本に親しんでほしい。(2) ⑤読書ノートの活用が全然できていない。 ⑥朝読書の時間が少ない。(2) ⑦家庭で読書する大切さを伝えていき、協力していただく。環境の日常化を図っていく。 ⑧学級図書の充実 ⑨保護者の読み聞かせの協力者が少ない。司書による本の紹介があるといい。 ⑩休み時間の図書室の過ごし方に指導が必要。(たまり場、走り回る児童) 	

研究推進部提案（主任：羽鳥）	
改善策	①来年度も今年度と同テーマで研究活動を進めていく中で、自ら考え、自力で（個人で、また友達と）解決して理解を深める方法をより具体的に分析・追究していく。
図書館部提案（主任：遠藤）	
改善策	②～⑩ <ul style="list-style-type: none"> ・壁面ボランティアの方が紹介されている図書を展示し、本を手に入る機会を増やす。 ・9月の学年掲示板の内容を「おすすめの本」とし、全校の取り組みとして児童同士が図書を紹介する機会を増やす。 ・花の子百選の図書室にある図書を廃棄処理し、各学年が管理する図書とし、各クラスに置けるようにして児童が花の子百選に触れる機会を増やす。図書室に置く分は来年度、新規購入する。

平成27年度 重点目標の成果と課題（2）

2 「豊かな社会性・人間性の育成～人とのかかわりを通して～」		
集計日 12月12日 回収人数 23名	A とても思う	
	B 思う	17
	C あまり思わない	5
	D 思わない	1
	E 分からない	
成果	☆ あいさつ週間になると活気が出てきて、めあてをもって取り組める子が多かった。(2) ☆ 教員があいさつの大切さや「ありがとう」を中心に進んで伝えるよう心がけ、気持ちの良いあいさつをする児童は増えてきた。(5) ☆ あいさつ運動に低学年も加えたことにより、継続可能な運動ができるようになった。あいさつの意識が高まった。(4) ☆ 低学年はほとんどの児童がしっかりと声であいさつができている。高学年でも進んでする子がいる。(2) ☆ 花の子交流活動を通し、普段関わらない学年のことも関わられた。児童が楽しみにしている。新しい遊びを提案し増やした。(2) ☆ 総合で異学年交流を実施するなど、花の子交流の他にも取り組んでいる。 ☆ デイホームの方の立場を理解し、積極的に関わることができた。様々な地域の方との交流ができている。(3) ☆ 高学年として様々な場面で他学年の手本となる態度や言動を目指し、高め合ってきた。学年全体が集まった時にはメリハリという形で示せることが増えてきた。	
課題	① 気持ちが不安定なのかあいさつしても気付かない子がいる。前向きににこやかにあいさつしていきたい。(2) ② 進んであいさつする児童が少ない。学年が上がると意識がうすれていくので、継続的に指導したい。(7) ③ 「校内にいる知らない大人にもあいさつする」ことに課題がある。不審者に過剰反応する地域性を考えると家庭との連携が必要になる。地域の方へのあいさつがまだまだ課題がある。(2) ④ 花の子交流活動中も、同じ学年で固まりがちだった。異学年との関わりを促したい。よりよい交流ができたらいいい。(2) ⑤ 高学年は低学年に手本となる責任や誇り、規律ある言動ができる児童が少ないため、高学年へのあこがれや尊敬の気持ちは育っていない。 ⑥ 学校生活全般を通して、自尊感情の向上を図る。自分の行いに自信を持てる児童を育てたい。(2)	

生活指導Ⅰ提案（主任：安藤）	
改善策	①～③ 学年始めに全校児童に対してあいさつ指導を行う。また、月1回の学年朝会であいさつに付いての指導を行う。
特別活動提案（主任：佐藤）	
改善策	④～⑥ ・ペア学年での活動を遊びに取り入れ、異学年で関わる機会を増やす。 ・最初の交流活動の座席を異学年が隣になるように組み、異学年の関わりを増やす。 ・4月の朝会で主任が花の子交流活動の意義を伝える。

平成 27 年度 重点目標の成果と課題（3）

3 「進んで運動に親しむ児童の育成」		
集計日 12月12日 回収人数 23名	A とても思う	1
	B 思う	19
	C あまり思わない	3
	D 思わない	
	E 分からない	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 休み時間になると外で遊んでいる。ボールを使った運動、おにごっこ、体力づくり等で進んで遊びに取り組んでいた。(4) ◇ クラス遊びや外遊びに積極的に参加するようになった。友達と一緒に体力づくりを行う機会を設け、意欲向上につながった。(2) ◇ ロング昼休みをとても楽しみにし、積極的に外遊びしている。有効である。(2) ◇ 花の子体力づくりの縄跳びやマラソンカードが意欲付けになっている。寒い時期でも外でなわとびをする様子が見られる。(7) ◇ 花の子体力づくりの成果で、技能と体力向上につながった。 ◇ 花の子体力づくりのダンスが新しくなって、新鮮でよかった。 ◇ 特設学級活動がよかった。 	
課題	<p>①休み時間のルール of 徹底(レンガでの鬼ごっこやボール遊び、予鈴で戻るなど)。校内で遊んでいる児童への指導。(7)</p> <p>②朝遊びは、看護当番がいないこと、管理職の先生方も校務のため十分に看られないことで、大人の目が十分に届かないまま行われている。安全面等に考慮しているとは言えない。8:15 以降に朝休みを取るなど朝の時間の活用の仕方に検討が必要と考える。</p> <p>③ボールが少ない。</p> <p>④個人差がある。運動が苦手な子どもがこれから嫌いにならないようにしたい。体を動かす楽しさを実感できるよう、進んで教員も動いていきたい。(4)</p> <p>⑤花の子体力づくりで高学年がリーダーとなって教えられるとよい。短縄を全校で行うのは場所が狭くて危険ではないか。学年で日を分けて行ったらどうか。(2)</p> <p>⑥遊びのきまりや種類、工夫も指導する。(休み時間、学級活動、体育などで)</p>	

生活指導 I 提案（主任：安藤）	
改善策	<p>①学年始めにルールを確認して学年でルール確認を徹底する。</p> <p>②朝遊びは管理職に安全確認をお願いする。</p> <p>③ボールは今以上増やすと管理がさらに難しくなるのと安全面を考えて現状維持をする。</p>
体育・運動会委員会提案（主任：小林）	
改善策	<p>④休み時間や授業を利用し、教員も進んで行っていきたい。</p> <p>⑤運動委員会の児童が検定を見る（低・中学年の縄跳びカード）ようにしていく。</p> <p>⑥学級、学年でもきまりや遊び方を確認していく。</p>